



第7回LCA日本フォーラム表彰 募集要項

— 2010年8月 —

主催 LCA日本フォーラム
後援 経済産業省
日刊工業新聞社

運営事務局 (社)産業環境管理協会

はじめに

1993年、ISO/TC207(環境マネジメント)が発足し、LCAの国際標準化検討が開始され、我が国においても製品の環境影響を定量的に評価する有力な手法としてLCAが注目をされるようになりました。1995年に、わが国におけるLCAの在り方を総合的に検討する場として、産官学の有識者多数によるLCA日本フォーラムが設立され、1997年、日本におけるLCAのあるべき姿と各セクターの取り組みをとりまとめた「LCA日本フォーラム報告書」を公表し、LCAデータベースの構築とLCA手法開発の必要性を提言致しました。翌1998年には、通商産業省(現経済産業省)の支援のもと、本提言に対応した経済産業省主管の「第1期LCA国家プロジェクト」がスタートし、2003年3月には、わが国で共通使用できるLCAデータベースが構築されると共に、環境影響評価手法(LIME)が開発されました。2003年度からは「第1期LCA国家プロジェクト」の成果であるLCAデータベースの拡充・普及とLCA手法の更なる普及を目的に3カ年間の「第2期LCA国家プロジェクト」が実施されました。

2006年度から2008年度にかけて、LCA手法の全国への普及を目指し「製品グリーンパフォーマンス高度化推進事業」として、主に中堅・中小企業を対象とした環境適合設計の導入による環境配慮製品の開発・普及事業を展開しました。

2008年度からはISO/TC207においてカーボンフットプリントの国際標準化検討が始まり、2009年度からはわが国でも経済産業省他各省庁の連携によりカーボンフットプリント制度の構築と普及促進を目的とした試行事業が開始されるなど、LCAの活用の方が更に広がりつつあります。

LCA日本フォーラムは平成16年度より、LCAプロジェクト成果のデータベース運営・管理を主体として、LCA手法の普及活動の活発化を目的に、LCA日本フォーラム表彰制度を創設・発足させ、LCAに関する優れた取り組みを顕彰しております。LCAの活動について社会的意識を一段と普及・定着させることを目的として今年度も引き続き第7回LCA日本フォーラム表彰を実施いたしますので、皆様の積極的なご応募をお待ちいたしております。

平成22年8月
LCA日本フォーラム
会長 山本 良一

平成22年度 LCA日本フォーラム表彰応募要項

1. 目的

LCAに係わる優れた活動および取り組みをはじめ、LCA日本フォーラムの活動・発展に貢献した者を表彰することにより、LCA手法を広く普及・定着させ、同時にLCA日本フォーラムの活動を活発化させることを目的とする。

2. 表彰部門および対象

本表彰は、以下の4部門とし、LCA手法に基づく活動や取り組みを対象とする。

(1) 製品開発・生産活動活用部門

直近の約4年間に公表され、その成果等が現われているLCAを活用した製品開発活動および生産活動(例えば以下のような視点などが評価できる活動)

・企業活動並びに製品開発・生産活動にLCA手法が組み込まれ活用されている。

例えば、LCA手法を用いて地球温暖化防止や省資源に取り組んでいる。

・LCA専門の人又は組織が整備され定量的な環境負荷の改善効果が現れている。

・LCAの結果を広く公表しユーザに提供している。

例えば、環境ラベル、カーボンフットプリント、広告等に表示し、ユーザにわかりやすく提供している。

・自社・他社問わず、LCAのデータや情報を用い、工場管理・製品開発活動等に活用している。

・他者のLCA活動にデータ提供等、積極的に協力している。

■表彰対象者:

・LCAを活用して、製品・サービスの開発、生産、リサイクル等の活動や環境経営に取り組む企業等。自薦、他薦を問わない。企業等の内部組織または個人での申請も可とする。

なお、本活動における受賞候補者の選出は、会社規模による不利益回避のため、応募者の所属組織を大企業とその他に分けて行う。

(2) 普及・啓発・教育部門

直近の約4年間に実施された、LCAの普及・啓発・教育等に関わる社会活動(例えば以下のような活動)

・地域や企業等へのLCAの普及・啓発を目的としたもの。

・組織内におけるLCAの普及・啓発を目的としたもの。

・LCA教育を含む環境教育を目的としたもの。

■表彰対象者:

・LCAの普及・啓発・教育等に取り組む企業、NPO、その他団体、教育機関、行政機関、研究機関等。自薦、他薦を問わない。企業等の内部組織または個人での申請も可とする。

(3) 研究部門

直近の約4年間に公表され、その成果が実務レベルで現われているLCAに関連する研究

活動(例えば以下のような視点などが評価できる活動で、必ずしも学術的な活動である必要はない。)

- ・研究の成果が具体的に実践されている。
- ・持続可能な環境社会の醸成に資する。
- ・LCAの普及および実践に資する。

■表彰対象者:

・LCAの実用的・応用的な研究等に取り組む企業、NPO、その他団体、教育機関、行政機関、研究機関等。自薦、他薦を問わない。特に大規模な研究機関等においては、個人や研究グループ単位で応募することを推奨する。

なお、本活動における受賞候補者の選出は、応募者の所属組織を民間企業・団体および公的機関に分けて行う。

(4) 功労賞

LCA日本フォーラムの発展に対して顕著な貢献があったもの。

■表彰対象者:

- ・個人を対象とする。応募は、自薦、他薦を問わない。

3. 表彰の方法

・経済産業省産業技術環境局長賞:

前項2の(1)～(3)の産業界の活動において、各分野で優れていると認められ選出された活動のうち、特に優れているものとし、経済産業省産業技術環境局長賞として賞状と副賞をもって顕彰する。

・LCA日本フォーラム会長賞 :

前項2の(1)～(3)の活動において、各分野で優れていると認められ選出された活動のうち、特に優れているものとし、賞状と副賞をもって顕彰する。

・LCA日本フォーラム奨励賞 :

前項2の(1)～(3)の活動において各分野で優れていると認められ選出された活動のうち、LCA日本フォーラム会長賞ならびに経済産業省産業技術環境局長賞受賞以外のものとし、賞状と副賞をもって顕彰する。なお、優れた活動を広く顕彰するため表彰件数は特に定めないものとする。

・LCA日本フォーラム功労賞 :

前項2の(4)において、特にその功績が大きいと認められた個人とし、賞状と副賞をもって顕彰する。

4. 募集の方法

公募によるものとし、団体、企業、個人による推薦または本人の申請による。

5. 提出書類

推薦者または申請者は、所定の推薦・申請書に内容を記載し提出するものとする。

(1) 申請書

申請1件につき正1部を提出する。

(2) 申請書の電子ファイル

申請書の電子ファイルを CD-R または CD-ROM 等で1枚を提出する。

(推薦書の電子ファイルの推薦者印は不要。)

(3) 表彰対象となる研究、活動または実績が記載されている資料。

(論文、環境報告書、特許など)

*提出された書類は返却いたしません。ご了承ください

6. 守秘義務

申請書類で知り得た情報については、当該表彰制度の審査以外に利用及び公開しない。表彰対象者公表の際は、申請書の「表彰対象者情報記入欄（表彰用）」の情報を使用する。

7. 応募期間

平成22年8月26日(木)から10月15日(金)

8. 書類の提出先(郵送)

LCA日本フォーラム事務局

社団法人産業環境管理協会 製品環境情報事業センター エコデザイン事業推進室

〒110-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目2番1号

TEL:03(5209)7708、FAX:03(5209)7716、E-mail: lca-project@jemai.or.jp

9. 発表・表彰

受賞候補者発表は11月に、ニュースリリース及びLCA日本フォーラムホームページにて行い、各受賞候補者に通知する。また表彰は、平成22年12月10日(金)エコプロダクツ2010にて開催致予定。

表彰記念セミナーは表彰式の前後の時間に同会場にて開催予定。

【 審査要項 】

1. 審査委員会

学識経験者等の有識者で構成するLCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ(WG)およびLCA日本フォーラム表彰選考委員会を設置する。

2. 審査期間

平成22年10月中旬～11月上旬

第1次審査：LCA日本フォーラム表彰選考WGにて、所定の申請書類及び補足資料による事前審査を実施する。

最終審査：LCA日本フォーラム表彰選考委員会にて審査・検討を行い局長賞、会長賞、奨励賞、功労賞を決定する。

LCA日本フォーラム表彰選考委員会

(順不同・敬称略)

	氏名	所属
委員長	石谷 久	一般社団法人新エネルギー導入促進協議会 代表理事
副委員長	福島 秀男	太平洋セメント株式会社取締役専務執行役員
副委員長	足立 芳寛	東京大学大学院 教授
委員	内山 洋司	筑波大学大学院 教授
委員	岩間 芳仁	日本経済団体連合会 産業第三本部長
委員	村田 有	経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 環境調和産業推進室 室長
委員	指宿 堯嗣	社団法人 産業環境管理協会 常務理事

「第7回LCA日本フォーラム表彰」受賞候補者推薦・申請書

申請日： 年 月 日

■推薦者記入欄(この欄は応募者本人による申請の場合は記載不要です) <様式1>	
推薦者氏名・印	
所属組織名	
役職名	
電話番号	
電子メールアドレス	
所在地	〒

申請日： 年 月 日

■応募者記入欄 <様式2>	
1. 応募者情報記入欄 (連絡用)	
氏名	
所属組織名	
役職名	
所属組織所在地	〒
電話番号	
電子メールアドレス	
2. 表彰対象者情報記入欄 (表彰用)	
表彰を受ける組織等の名称 (表彰の際に使用します)	
部署名 又は グループ名	
組織の代表者氏名・役職	
応募する活動の分類 (該当に○)	1 LCAを活用した製品開発活動 2 LCAの普及・啓発・教育等に関わる社会活動 3 LCAに関連する研究活動 4 LCA日本フォーラムの発展への貢献
表彰を受ける活動の名称 (表彰の際に使用します)	
表彰を受ける活動の概要 (受賞活動の紹介で使用します) 400字以内厳守	

参考資料リスト（提出する参考資料情報をご記入ください）

（参考資料がない場合は記入不要です）

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

※上記で足りなければ、行を追加してください。

表彰の対象となる活動の概要

（ LCAを活用した製品開発活動および生産活動 ）

受賞対象の題目：		
概要	※ 様式2に記載の同一内容を記入	
分類	組織の規模は？（該当に○） 大企業とは資本金が3億円超で従業員数300人超の企業	1. 大企業 2. その他
体制	LCA専門の人又は組織が整備されていますか？ （該当に○）	1. ある 2. ない
実践	LCAを展開する体制は？ （該当に○ / 複数選択可） （実態が分かるような資料を参考資料に添付願います）	1. 社内関係部門と効率的データ運用を行っている 2. 社外との効率的データ運用もしくは共有を行っている 3. 関連企業のLCA支援を行っている
	LCAの導入でどのような環境負荷の低減を目指しますか？ （例：製品の製造工程におけるCO ₂ の排出量）	
	製品開発活動にLCA手法が組み込まれていますか？ （該当に○）	1. はい 2. いいえ
	生産活動にLCAを活用していますか？ （該当に○）	1. はい 2. いいえ
	いつから製品開発にLCAを組み込んでいますか？（製品種類不問）	〇〇〇〇年より製品開発に組み込んでいる
	いつから生産活動にLCAを活用していますか？（製品種類不問）	〇〇〇〇年より生産活動に活用している
	上記の活動を通して生産される主要な製品は？（例：液晶テレビ） その生産量は？（例：t/年、台/年など）	
成果	LCAの導入による環境負荷の低減効果はありましたか？ （該当に○ はいと答えた場合、次の設問にもお答えください）	1. はい 2. いいえ 3. わからない
	LCAの導入で低減できた環境負荷の削減率をご記入下さい。 （ここに記載する製品の詳細データを参考資料として添付願います*） *この製品は必ずしも上記「主要な製品」と一致する必要はありません。	CO ₂ を年間約 %削減 廃棄物を年間約 %削減 資源消費を年間約 %削減 水を年間約 %削減 その他()年間約 %削減
	LCAの導入は企業の環境イメージ向上につながりましたか？ （該当に○ はいと答えた場合、具体例を40字程度で簡単に説明） （具体例を記入）	1. はい 2. いいえ 3. わからない
	LCAの導入は製品の差別化につながりましたか？ （該当に○ はいと答えた場合、具体例を40字程度で簡単に説明） （具体例を記入）	1. はい 2. いいえ 3. わからない
PR	LCA結果の公表方法は？ （該当に○ / 複数選択可）	1. 環境報告書 2. 広告・新聞等 3. 環境ラベル 4. HP 5. 学会発表 6. その他(カタログなど)

表彰の対象となる活動の詳細(合計1000字以内厳守)

前記設問の記載と対応がとれるよう以下の項目に対して簡潔に記載ください。

活動目的を簡潔にご記入ください。

活動内容を簡潔にご説明ください。

LCA実践に対する評価の考え方と成果を簡潔にご記入ください。

(社会的意義、強調すべき事項、アピールなど)

表彰の対象となる活動の概要

（ LCAの普及・啓発・教育等に関わる社会活動 ）

受賞対象の題目：		
概要	※ 様式2に記載の同一内容を記入	
分類	組織の分類は？ （ 該当に○ ） 大企業とは資本金が3億円超で従業員数300人超の企業）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大企業 2. その他の企業 3. 公的機関 4. 大学等教育機関 5. その他
体制	専門の指導者はいますか？ （ 該当に○ ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ
	普及・啓発・教育体制の形態は？ （ 該当に○ / 複数選択可 ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. セミナー、講演会を実施 2. 研修会、講習会を実施 3. 勉強会、研究会を実施 4. 教育プログラムに組み込み 5. その他（ ）
	上記の指導者の所属は？ （ 該当に○ / 複数選択可 ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社内 2. 社外 3. 両方 4. その他
	教材の整備状況は？ （ 該当に○ / 重複選択可 ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 独自品 2. 市販品 3. 両方 4. その他 5. なし
実践	活動の年平均開催回数及び参加人数は？（ 例：回／年 ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. セミナー、講演会 人/回、 回/年 2. 研修会、講習会 人/回、 回/年 3. 勉強会、研究会 人/回、 回/年 4. 教育プログラム 人/回、 回/年 5. その他 人/回、 回/年
	活動の継続実績は？	年～ 年
	活動のための出版物等を作成していますか？ （ 該当に○ ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ
成果	活動の結果LCAの活用もしくは理解が促進されましたか？ （ 該当に○ 1.はいと答えた場合、具体例を40字程度で簡単に説明）	<ol style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ 3. わからない
	（具体例）	
	今後も活動を継続してほしいという要望はありますか？ （ 該当に○ ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ
PR	活動の成果の公表方法は？ （ 該当に○ / 複数選択可 ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境報告書もしくは会報等 2. 広告・新聞 3. HP 4. その他 5. 公表していない

表彰の対象となる活動の詳細(合計1000字以内厳守)

前記設問の記載と対応がとれるよう簡潔に記載ください。

普及・啓発・教育活動の内容を簡潔にご記入ください。

普及・啓発・教育活動の具体的な成果を簡潔にご説明ください。

その他アピールなどあればご記入ください。

表彰の対象となる活動の概要

（ LCAに関する研究活動 ）

受賞対象の題目：		
概要	※ 様式2に記載の同一内容を記入	
分類	組織の分類は？ （ 該当に○ ） 大企業とは資本金が3億円超で従業員数 300 人超の企業	1.民間の大企業 2.その他の民間企業 3.公的機関 4.大学等教育機関 5.その他
成果	◇研究活動の先進性を簡潔にご記載ください(250字以内)	
	◇研究活動の成果の社会への実践可能性を簡潔にご記載ください(250字以内)	
	◇研究活動の成果の社会への適用性を簡潔にご記載ください(250字以内)	
	◇研究活動の成果の社会への普及度を簡潔にご記載ください(250字以内)	
実践	研究活動の成果の実践状況は？ （ 該当に○ ）	1. 実践中/済み 2. 計画中 3. 検討中 4. なし
PR	研究活動の成果の公表方法は？ （ 該当に○/複数選択可 ）	1. 環境報告書もしくは会報等 2. 広告・新聞 3. 環境ラベル 4. HP 5. 学会発表, 6. その他

表彰の対象となる活動の詳細(合計1000字以内厳守)

前記設問の記載と対応がとれるよう簡潔に記載ください。

研究活動の概要を以下の項目に沿って簡潔にご記入ください。

1. 背景	
2. 目的	
3. 手段	
4. 成果	
表彰等の経歴(対象:平成17年～平成 21年) (実績のある場合のみご記載ください)	
年	
年	
年	
年	
年	
その他アピール等があればご記載ください	

表彰の対象となる活動の概要（合計1000字以内厳守）

（ LCA日本フォーラムの発展への貢献 ）

これまでの活動を簡潔にご記入ください

JLCAの発足に携わった。 （ 該当に○ ）	1. はい 2. いいえ
JLCAの会員であった。 （ 該当に○ ）	1. はい 2. いいえ
LCAプロジェクトへの参画。 （ 該当に○／複数選択可 ）	1. 第1期LCAプロジェクト 2. 第2期LCAプロジェクト 3. 参画していない
LCAデータベースの構築・提供に携わった。 （ 該当に○ ）	1. はい 2. いいえ
JLCA運営活動への参画。（ 複数選択可 ） （ 該当に○／複数選択可 ）	1. 各種委員会活動 2. セミナー等のLCA普及活動 3. LCA日本フォーラム表彰 4. 広報活動（出版・ニュースレター） 5. その他